

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	岩永 安子	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和4年12月20日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	230人学級について (1) 教室不足について		
【質問要旨】 (登壇1) 現場では、教室不足が起きかねないと聞く。少人数学級実施による影響とその対応についてお尋ねする。 (追及1) 令和5年度の見込みとその対応についてお尋ねする。			
【答弁要旨】 (登壇1) 本市では、平成14年度以降、義務教育学校の前期課程を含む小学校について、1年生は35人、2年生以降を40人とする国の学級編成基準を引き下げ、1・2年生を30人、3年生から6年生までを35人とする鳥取県の制度に沿って、少人数学級に取り組んできました。 国が、昨年度、約40年ぶりに基準の見直しを行い、35人に段階的に引き下げる措置を講じたことを受け、本市では、今年度から、より一層充実した教育活動を推進することなどを目的に、国の学級編成基準をさらに先行して、全学年30人を見据えた新たな学級編成により、少人数学級に取り組んでいるところです。 今年度は、小学校3年生が30人学級となったことで、城北小学校など7つの小学校において学級増の影響がありましたが、いずれの学校も特別活動室等の特別教室を転用するなどして必要な教室を確保したところです。 (追及1) 学校ごとの児童数に関しては、例年2月頃に正確な数字が確定するため、現時点での見込みにはなりますが、令和5年度は、小学校3・4年生が30人学級の影響を受けるため、修立小学校など13校が学級増となる見込みとなっています。これらの学校については、本年度と同様に、特別教室の転用等を行うことで必要な教室数を確保できるものと考えています。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	岩永 安子	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和4年12月20日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	230人学級について (1) 教室不足について		
【質問要旨】 (追及2) 令和7年度には、6年生までの全ての学年で30人学級となるわけですが、教室不足になると思われる小学校は何校あるのかお尋ねする。 (追及3) 教室不足が見込まれる学校に関しては、改修を行うなどして教室の増室や増築を行うべきと考えるが、教育長のご所見を伺う。			
【答弁要旨】 (追及2) 必要な教室数については、30人学級拡充による影響のみならず、特別支援学級が全体的に増加傾向にあることや、一部の学校では、近隣の宅地開発等による児童数の変動なども大きく影響します。このため、現時点で教室不足となる学校を確定することは出来ませんが、仮に教室不足が見込まれる場合には、必要な対応をとってまいりたいと考えています。 (追及3) 教室不足が見込まれる学校につきましては、こうした状況をできるだけ早く解消する必要があると考えています。現時点で、具体的な計画にまでは至っていませんが、30人学級適用に向けては、ある程度の見通しをたてながら取り組みを進めているところです。いずれにしましても、教室不足への対応については、適宜必要な整備を進めてまいりたいと考えています。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月20日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	2 女性の健康について (2) 生理用品の無償配布の拡充について		
【質問要旨】 (追及2) 令和3年6月議会において、学校のトイレに生理用品を配置するよう求めたところ、教育長より「一時的に生理用品が必要になった場合には、児童・生徒からの申出により、養護教諭が個別に対応を取っている」との答弁があった。 保健室に行く余裕がない場合などもあるため、保健室から遠い、特定のトイレにだけでも配置することはできないか。			
【答弁要旨】 (追及2) 日頃より各学校においては、養護教諭はもとより、その他の教職員も児童・生徒へ積極的な声かけを行い、子ども達の様子を、家庭の状況の変化も含めて把握に努めているところで 本市としましては、一時的に生理用品が必要になった場合には、一人一人に寄り添った、養護教諭などによる個別対応を続けていきたいと考えており、今後におきましても、学校が児童生徒、保護者がいつでも安心して相談できる環境であるよう引き続き取り組んでまいります。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和4年12月20日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>3 鳥取方式の芝生化について</p> <p>(1) 公立学校のロボット芝刈機導入について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇1) 芝生を設置している本市の公立小・中・義務教育学校へのロボット芝刈機導入の経過について伺う。</p> <p>(追及1) ロボット芝刈機を導入することにより、教職員やPTAなど関係者の負担感がどのように変わったのか、経費の面での効果について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇1) 令和2年3月に芝生を設置している4校区の学校及び地域の関係者から自動芝刈機導入の要望書が提出されました。同年4月からは日進小学校で試験的にロボット芝刈機を導入し、9月まで実施した試験結果は良好で、学校関係者からも好評をいただいたことから、令和3年度よりロボット芝刈機を希望する9校に導入したところです。</p> <p>(追及1) ロボット芝刈機の導入により、学校からは、「業者との日程調整や天候による延期がなくなり、負担が軽減された。」「適切な芝生の長さを恒常的に維持することが可能となり、体育の授業が行いやすい。」など良好な感想をいただいております。 芝生化している17校の芝刈に係る経費は、ロボット導入前の令和2年度が3,620千円であるのに対し、令和3年度は1,576千円となっております。ロボット草刈り機の導入は6月のため、年間通しての比較とはなりません。約2,000千円の経費削減効果が出ております。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和4年12月20日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>3 鳥取方式の芝生化について</p> <p>(1) 公立学校のロボット芝刈機導入について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2)</p> <p>学校の先生、PTAや地区の方々にはおおむね好評価をいただいたとのことだが、現状の課題やその対応なども踏まえ、ロボット芝刈機導入を拡大していくのか鳥取市の考えを聞かせてほしい。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2)</p> <p>鳥取市はロボット芝刈機を5年リースで契約していますが、契約の関係上、一部修繕の対象とならない場合や芝刈機自体の交換が必要となった場合は、別途費用が発生し経費削減効果が縮小します。通常の維持管理は、学校・PTA・地域が中心となって行っているところです。</p> <p>課題としては、今後、耐用年数なども踏まえ、メンテナンスをどのようにしていくか、学校関係者等との検討が必要と考えています。</p> <p>ロボット芝刈機の状態を各校に周知し、希望する学校については、設置していきたいと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和4年12月20日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 鉄道を活かしたまちづくりについて (3) 鉄道遺産を活用した地域教育について		
【質問要旨】 (追及7) 鉄道や山白川の歴史は、地域の歴史教育になるので、教育に生かしていくべきだと考えるがどうか。			
【答弁要旨】 (追及7) 鉄道や山白川はもちろんのこと、スポットや地名、偉人など本市の歴史に由来する事象は数多くあります。過去の出来事や取組、先人の英知を学び、現代や未来に生かすことは、大切なことだと考えており、これを活かす取組は社会教育のあるべき姿であると考えます。 引き続き、まちの歴史や市民の関心事、防災等といった様々な題材を通し鳥取を学ぶ機会を提供してまいります。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	谷口 明子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	2 選挙投票率の向上について (3) 主権者教育について		
【質問要旨】 (追及3) 学校教育ではどのように主権者教育を行っているのか伺う。 (追及4) 学校での取組に議場を活用してもらい、政治に参加していくことのよりよい原体験につながる主権者教育を行ってはどうかと考えるが、教育長の所見を伺う。			
【答弁要旨】 (追及3) 各学校では、学習指導要領のもと、社会科や総合的な学習の時間、学級活動、児童会・生徒会活動、学校行事等において、学習内容を相互に関連させながら主権者教育に取り組んでいます。選挙の意義や仕組み、課題については社会科で取り扱っており、その際は市選挙管理委員会から配布される選挙啓発資料を活用したり、選挙出前講座を実施したりもしています。また、各中学校の生徒会長等の選出にあたっては、全校生徒による投票が実施されており、選挙公報の配布、立合演説会の開催等を含め、選挙そのものを体験的に学習しています。その上で本市では、学級集団における話し合い活動や、合意形成したことを実践につなぐ取組についても研究を進めており、主権者教育の一層の充実につなげているところです。 (追及4) 教育委員会では、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うため、児童生徒を対象とした市役所見学を令和元年度から実施しています。令和4年度は小学校4校、中学校1校の申込がありました。見学コースには議場が含まれており、議会開会時には傍聴もさせていただきました。本市の政治について真剣に議論する姿に児童生徒は心を動かされるとともに、授業で学習した内容について理解を深めたり、ぜひまた傍聴したいとの思いを抱いたりしたようです。また、コロナ感染拡大前までは議場を使って小学生スマイルサミットを開催し、いじめ防止や仲間づくりについて意見を交わし合う取組も実施していました。今後も引き続き議場を学び場として活用できるよう工夫していきたいと考えています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	水口 誠	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 不登校対策について</p> <p>(1) 不登校児童生徒の現状について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇1) 全国では不登校児童生徒数は増加しているが、本市の不登校児童生徒の推移と現状について伺う。</p> <p>(追及1) 不登校児童生徒の学校での主な対応について、どのようになされているか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇1) 病気などの理由を除いて、年間の欠席日数が30日以上となった不登校児童生徒数は、全国と同様に、本市においても年々増加しており、特に小学校低学年での増加が顕著です。令和3年度の本市の不登校児童生徒数は小学生155人、中学生240人であり、100人あたりの不登校児童生徒数の割合では、小学校1.63%、中学校5.17%と過去最多となっています。</p> <p>不登校児童生徒の登校の状況は様々であり、多くは、欠席日数が30日を超えながらも教室や相談室等へ断続的・継続的に登校できていたり、できるようになったりしています。</p> <p>(追及1) 不登校の要因や背景等は個々の状況によって多様で、その支援も多岐に渡るため、各学校ではまず本人のニーズを把握し、保護者と相談しながら、その児童生徒にあった支援を進めています。その際、不登校児童生徒本人や家族の気持ちに寄り添うことを大切にしながら、主に人とつながる機会を作ったり、学びを保障したりしています。</p> <p>当該児童生徒が安心して過ごせる場所をつくることを第一に考えながら、児童生徒が学校の教職員や外部の専門機関の方と相談しながら、自らの進路を主体的に捉えて、社会的自立を目指せるような支援に取り組んでいるところです。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	水口 誠	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 不登校対策について</p> <p>(1) 不登校児童生徒の現状について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 不登校に対する本市の未然防止の取組について伺う。</p> <p>(追及3) 学習意欲はあるが、学校に行けない児童生徒がいる。そのような不登校児童生徒に対する学習面の支援について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 不登校の未然防止には、どの児童生徒も学校に来ることを楽しいと感じ、日々の学校生活が充実していることが大切です。そのためには、自分の存在が大切にされたり、活躍できる場面があったりすることが必要であり、各学校では児童生徒が主体的に授業や行事に取り組むことができるような教育活動を工夫しているところです。 また、子どもたちの困り感や背景等の問題をいち早く察知するため、学校では、担任をはじめ教職員の日々の気づきに加えて、全児童生徒を対象に定期的にアンケートや面談等を行い、その状況に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関等と連携しながら、より適切な支援を早期に図るよう努めております。</p> <p>(追及3) どの児童生徒の学習も保障するため、お尋ねのような場合、各学校では、個々のニーズに合わせて相談室等の学級以外の学びの場を提供したり、ICTを使って自宅等から授業の様子が見えるようにしたりするなどの学習支援を行っています。また、状況によっては、本市が開設しているサポートルームや民間のフリースクールで学習支援を受けていたり、主に自宅で過ごす児童生徒を対象に、県の「不登校児童生徒への自宅学習支援事業」を活用し、e-ラーニング教材で学習を行っているケースもあります。 今後も不登校児童生徒の状況に応じた学習支援の充実を図りたいと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	水口 誠	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>1 不登校対策について</p> <p>(1) 不登校児童生徒の現状について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4)</p> <p>不登校で困っている家族の方々の中には学校に相談できない場合もある。相談者にとって、相談しやすい窓口について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4)</p> <p>学校では、担任の他に教育相談担当やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が相談に応じられますし、学校以外にも様々なところで相談を受けつけています。本市では総合教育センター内に「こころの相談電話」を開設しており、また、県にはLINEを使った「とっとりSNS相談」等の相談窓口があります。</p> <p>いずれにしても、保護者の方の思いにしっかり寄り添って、学校はもちろん、関係機関等が連携しながら、多面的に支援していくことが今後も必要だと感じています。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	水口 誠	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	2 発達障がい児への対応について (1) 発達障がい児への配慮について (2) 支援対策の強化について		
【質問要旨】 (登壇1) 本市の通常の学級における配慮の必要な児童生徒の推移（令和2年度～令和4年度）について伺う。 (追及1) このような現状の中で子どもたちの学びや学校での生活において、特性に応じた指導支援はどのようになされているのか伺う。			
【答弁要旨】 (登壇1) 議員からご紹介のあった文部科学省の「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」結果の割合は、「知的発達に遅れはないものの学習面や行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒数の割合」を示したものです。一方、本市では、「知的発達の遅れを含む」配慮を必要とする児童生徒の割合を調査していますが、その割合は、令和2年度13.0%（13,721人中1,786人）、令和3年度14.8%（13,535人中2,003人）、令和4年度19.4%（13,316人中2,580人）と増加傾向にあり、一人一人の教育的ニーズに応じた配慮や支援内容は多様化しています。 (追及1) 通常の学級には、障がいの診断のあるなしに関わらず、人間関係の形成、読み書きや計算、注意集中の困難さなど多様な教育的ニーズを必要としている児童生徒が在籍しています。そのため一人一人の実態把握を丁寧に行い、教育的ニーズに応じたきめ細かな指導支援に努めているところです。 例えば文字の読み書きが困難な学習障害のある児童生徒の場合、ノートをとる代わりにタブレットで板書の写真を撮ることで書きの困難さを軽減したり、ルビ打ちのプリントを準備したり、一人一人の実態に応じた支援をしています。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日（12月定例教育委員会）			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	水口 誠	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 発達障がい児への対応について (1) 発達障がい児への配慮について ①学校での教育支援支援員・特別支援教育支援員について (2) 支援対策の強化について		
【質問要旨】 (追及2) 特別支援教育支援員が配置されているが、配置状況（令和2年度～令和4年度）と支援員はどのように活用されているのか、その配置は十分なのか伺う。 (追及3) 校内での情報共有が大切だと思うが、どのように取り組んでいるのか伺う。			
【答弁要旨】 (追及2) 特別支援教育支援員は、学校規模や実情に応じて令和2年度から令和4年度まで67名配置しています。特別支援教育支援員は、児童生徒一人一人の障がいの状況や教育的ニーズに応じた学習指導及び生活指導の担任の補助的な役割を担っています。これは、児童生徒一人一人に十分な教育を保障するための重要な役割の一つであります。配慮を要する児童生徒が増加し、一人一人の教育的ニーズに応じた配慮や支援内容が多様化してきているため、特別支援教育支援員のニーズは高く、引き続き必要な特別支援教育支援員の確保に努めてまいります。 (追及3) 児童生徒の安心安全な学校生活を保障するためには、市内すべての小中・義務教育学校では、担任を含む全ての教職員間において、児童生徒個々の困難さに応じた指導支援について共通理解を図るとともに教職員間の連携に努めているところです。具体的には、校内では職員会議、校内委員会等で情報共有を図るとともに、一人一人の実態に応じたきめ細かな指導内容や指導方法を検討し共通実践に努めているところです。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	水口 誠	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	2 発達障がい児への対応について (2) 支援対策の強化について (3) 今後の取り組みについて		
【質問要旨】 (追及4) 障がいへの理解も大切だと思うが、教員に対する研修会などの取組について伺う。 (追及5) 配慮の必要な児童生徒はこの先も増加していくと思われるが、どのようなところに力を入れて取り組んでいこうとしているのか伺う。			
【答弁要旨】 (追及4) 本市では、特別支援学級担任・特別支援教育主任を対象とした教職員研修を実施し、担当者の専門性の向上や教職員の資質向上に努めています。また特別支援教育を基盤とした学校経営の推進に向けて、校長自身が特別支援教育の理解を深める研修も実施しています。その他、T式ひらがな音読支援（ひらがな読みの向上を目的とした鳥取大学開発の音読支援）プログラムについて、各学校を訪問し指導助言を行ったり、各学校における校内研修会や授業研究会を通して発達障がいに対する理解を深めたりしているところです。 今後も一人一人の教育的ニーズに応じた指導支援ができるよう、県教育センターの専門研修等も活用しながら、研修の充実と理解啓発に努めていきたいと考えています (追及5) 配慮を要する児童生徒の増加に伴い、一人一人の教育的ニーズに応じた配慮や支援内容が多様化することを踏まえ、全教職員に対して、特別支援教育についての専門性の向上や資質の向上に向けてのさらなる研修の充実を図ってまいりたいと考えます。 また、児童生徒一人一人の十分な教育を保障するために、引き続き特別支援教育支援員等の人材確保に努めてまいりたいと考えます。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>3 鳥取市小・中・義務教育学校の学習環境について</p> <p>(1) 児童生徒の目の健康について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇1)</p> <p>GIGAスクール構想の本格実施から3年目を迎え、児童生徒のタブレット端末や家庭でのスマホ等、情報機器の使用の現状について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇1)</p> <p>令和4年度全国学力・学習状況調査によりますと、学校の授業で週1回以上ICT機器を使用したと回答した児童生徒の割合は、小学校6年生で88.0%、中学校3年生で82.9%でした。令和元年度は、小学校6年生で24.6%、中学校3年生で21.0%でしたので、GIGAスクール構想導入以降、タブレット端末を始めとするICT機器が日常的に活用されていることがうかがえます。また、令和4年の同調査で、家庭で1日あたり1時間以上スマートフォン等によるSNSや動画を視聴していると回答した割合は、小学校6年生で47.7%、中学校3年生で71.6%となっており、全国平均を少し下回ってはいますが、多くの子どもたちが家庭においてスマートフォン等の情報機器を長時間使用している現状がうかがえます。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>3 鳥取市小・中・義務教育学校の学習環境について</p> <p>(1) 児童生徒の目の健康について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及1)</p> <p>GIGAスクール構想導入前と現在において、児童生徒の目の健康状況について変容等は見られているか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及1)</p> <p>5年前の平成29年度を比較しますと、視力1.0未満の割合は、小学生では平成29年度は32.18%でしたが、令和3年度は37.20%、また中学生では平成29年度は58.53%でしたが、令和3年度は64.41%となっています。</p> <p>平成29年度と比較して令和3年度が悪化しているのは、全国的な傾向です。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>3 鳥取市小・中・義務教育学校の学習環境について</p> <p>(1) 児童生徒の目の健康について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 学校現場や家庭生活の中で、目の健康を維持するための具体的取組状況について伺う。</p> <p>(追及3) 日常において、タブレット端末や情報機器の使用の必要性は今後も高まることが想定されるが、目の健康を維持するための今後の取組をどう想定しているか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 学校現場や家庭に向けての目の健康を維持するための具体的取組としましては、学校向けのタブレット端末活用ガイドラインや、児童生徒、保護者向けのリーフレット等を配布し、「目と画面との間を30cm以上とる」、「30分程度を目安に目を休める」、「画面の明るさを調節する」等、タブレット端末やスマートフォンの使用時間や適切な使用方法について、目の健康維持のための留意点を示してきたところです。</p> <p>(追及3) 今後も、学校や家庭にタブレット端末やスマートフォン等の使用時間等を含めた適切な使い方を示すために、運用ガイドラインやリーフレット等を配布して目の健康維持に関する広報、啓発に努めてまいります。 また、児童生徒自らがタブレット端末等ICT機器を適切に使用できるよう、児童生徒の主体的な話し合いによって仲間同士での約束やルール作りを行うなどして、目の健康維持も含めて自律した活用を促してまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>3 鳥取市小・中・義務教育学校の学習環境について</p> <p>(1) 児童生徒の目の健康について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4) 目の健康の問題では、自然光における紫外線の問題も指摘されている。幼児期における目の紫外線対策をどうとられているか伺う。</p> <p>(追及5) 学齢期（小・中学生）の目の紫外線対策をどのようにとらえているか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4) 保育園等では、園外活動を行う際は、ツバのある帽子を着用し、目が直射日光を浴びないようにしているほか、砂場等とどまって遊ぶ場所には、遮光のテント等を設置するなど、日陰で遊べるよう環境を整えています。 また、①熱中症アラート発令時や、紫外線の多い日は外遊びを控える ②屋内でもテラスに遮光シートを施し保育室内に強い日差しが入らないようにする ③日差しのある場所で活動しない、など、日頃から保育環境に配慮しているところであり、今後も乳幼児の紫外線対策に十分留意するよう努めてまいります。</p> <p>(追及5) 日本臨床皮膚科医会及び日本小児皮膚科学会の資料によりますと、日陰は日向の約50%に紫外線の量が減るといわれています。学齢期（小・中学生）における目の紫外線対策として、陸上競技や水泳等の屋外活動時において紫外線の影響が強いと考えられるときには、遮光できるテントの中で待機したり、帽子やタオル等で日差しを避けたりする等の配慮を行っております。今後も、なるべく紫外線の強い時間帯を避け、紫外線の弱い時間帯に屋外活動を行うなど、児童生徒の目の健康維持に配慮し、適切な紫外線対策に努めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	金田 靖典	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	1 畜産業者への支援について (2) 今後の支援策について		
【質問要旨】 (追及3) 飼料の高騰を受けて、牛乳の価格も上昇している。学校給食においても牛乳の価格が上がっていると聞いているが、その他の食材の価格も上昇してきている。牛乳を含めた食材の値上がりに対して、教育委員会としてはどのような対応をしようとしているのか伺う。			
【答弁要旨】 (追及3) 現時点で、本市では給食費を見直すことは考えておらず、献立や食材を見直すなどの工夫をしながら対応し、変わらず安心安全な給食を提供することとし、できる限り保護者負担の増に繋がることのないよう取り組んでまいります。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	岡田 信俊	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 釧路市との姉妹都市交流について (1) 姉妹都市交流の現状について		
【質問要旨】 (登壇1) 釧路市立鳥取小学校と本市賀露小学校との交流について、双方の4年生を窓口に、それぞれ地元について学んだことをオンラインで発表する交流を実施している。今後もできることをできる時というスタンスで手作りの交流を続けようと、両校の校長同士で話をされているとのことである。このような小学校同士の交流であるが、教育長はどのように考えているか伺う。			
【答弁要旨】 (登壇1) 御紹介のありました鳥取小学校と賀露小学校のように、遠く離れた同世代の子どもたちが、コロナ禍にあってもICTを活用し、お互いのふるさとや学校の紹介、共通の議題について話し合う活動等で交流することは、両市の友好の絆を深めるとともに、次代を担う子どもたちの夢と希望を培う大変有意義な機会であると評価しています。 児童生徒交流体験事業として行っている郡山市や姫路市との交流においてもオンラインへと形を変えて実施しているところですが、このような交流は、相互の親睦を図ると共に、他の都市を知り、自分たちのふるさとを見直すことで郷土愛を育むことができると期待しており、本事業は市教育の基本理念「ふるさとを思い、志をもつ子」の育成にも寄与するものと考えています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	中山 明保	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和4年12月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 遺跡・文化財の保護・活用による観光促進について</p> <p>(1) 遺跡・文化財の現状について</p> <p>(2) 青谷「古代山陰道」の価値づけと保護について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇1) 本市には遺跡など多数の文化財が残されていると思うが、その保存と活用の現状はどのようなになっているのか伺う。</p> <p>(追及1) 近年発見された青谷「古代山陰道」について、12月10日に特別講演会が開かれるなど注目すべき遺跡だと考えるが、その価値づけと保護についてどのように考えているのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇1) 本市は、古代より現代にいたるまで、山陰地域の重要な地域であり、数多くの歴史・文化遺産に恵まれています。令和4年現在で、国・県の指定文化財158件、市指定文化財130件の計288件を数え、国の登録文化財についても有形文化財・記念物あわせて29件が所在しています。本市ではこれらの指定文化財に加えて、地域に所在する指定されていない文化財を含めた保存・活用方針を「鳥取市歴史文化基本構想」として昨年度末に策定し、これに沿って文化財の保存・活用事業を進めることとしており、鳥取城跡や青谷上寺地遺跡などの大規模な史跡の整備、仁風閣の大規模修理や旧美敷水源地水道施設の活用など、多くの事業を実施しているところです。</p> <p>(追及1) 古代山陰道は、奈良時代に国が緊急連絡用に整備した駅路と呼ばれる道のひとつです。以前から記録などによる研究がされてきたところですが、平成23年度・24年度の青谷上寺地遺跡の調査の中で広い幅の道路遺構が発見されたことから、遺跡としての存在が確認されました。その後、平成25年度から27年度にかけて鳥取西道路の建設に伴ってその延長線上の道路が発見され、平成30年度から現在まで、鳥取県埋蔵文化財センターを事業主体として調査研究事業が進められてきました。本市としては、県埋蔵文化財センターの調査成果をもとに、鳥取県・文化庁など関係機関と保存・活用の方針について協議を進めているところです。将来的には国の史跡指定なども視野に入ってくるのではないかと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
			対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 学校給食について</p> <p>(1) 本市における学校給食の現状と取り巻く情勢について</p> <p>(2) 学校給食費の未納状況について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇1) 本市における学校給食の現状と、学校給食を取り巻く情勢について、教育長はどのように認識しているのか。</p> <p>(追及1) 平成30年度から学校給食費は公会計化されたが、保護者から集金した給食費が、学校給食の財源になっているという状況に変わりはない。 公会計化前の平成29年度には99.75%だった徴収率が、公会計化後の平成30年度には99.05%と、0.7%下がったという答弁でした。公会計の導入から5年近くが経つが、その後の徴収率はどのようにしているのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇1) 本市では現在、8つの学校給食センターで約1万6,000食を調理し、市内の小中義務教育学校56校で給食を実施しています。 近年、食を取り巻く社会環境は大きく変化し、食に関する価値観や食生活が多様化する中で、子どもたちの食生活の乱れや健康課題が指摘されており、学校・家庭・地域が連携して次世代を担う子どもたちの望ましい食習慣の形成に努める必要があります。 また、児童・生徒数の減少や食材生産者などの働き手の減少など、こういった変化への課題もありますが、いずれにしても学校給食は、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための重要な役割と認識しています。</p> <p>(追及1) 公会計化後の学校給食費の徴収率ですが、平成30年度は議員ご紹介のとおり99.05%でした。また令和元年度は99.02%、令和2年度は99.24%、令和3年度は99.22%となっております。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 学校給食について</p> <p>(2) 学校給食費の未納状況について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 昨年度の学校給食費の徴収率は、平成30年度と比べて改善しているとの答弁だったが、なお公会計になる前より徴収率は低い状態である。この背景や要因をどのように分析しているのか。</p> <p>(追及3) 「鳥取市の学校給食の基本構想」には、「安全・安心な学校給食の持続可能な提供」とある。この「持続可能な」という言葉には、保護者にきちんと給食費を払ってもらおうということも当然含まれているものと考えている。 公平・公正という観点からも徴収率の向上を目指すべきだと考えるが、本市では未納をなくすために、どのような取り組みを進めているのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 本市では平成30年度より、学校現場の負担軽減や給食会計の透明化を目的に公会計化を進めましたが、現在では全国的に導入が進んでおり、文部科学省でも令和元年7月にガイドラインを作成して、各地方自治体に公会計の導入を促進しているところです。 鳥取市では公会計化以降、約99%の保護者が口座振替を選択しておられますが、口座振替は引き落とし時期が限られることや、引き落としにあたり振替口座への入金が遅れたことによる残高不足が、徴収率が低下した理由ではないかと考えています。</p> <p>(追及3) 本市では、日頃より徴収率の向上を図るため、保護者からの納付相談により、分割納付や児童手当からの引き去りを行うなど、納付しやすい環境を整えております。また、滞納となっている場合等は、債権管理専門の担当課と連携し、適切な徴収につながるよう努めているところです。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 学校給食について</p> <p>(3) 学校給食の残滓量の現状について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4) 学校給食の残滓、すなわち食べ残しについては、これまでも他の自治体の事例を挙げて、削減の努力をするよう求めてきた。 平成24年度は小学校が5.5%、中学校が5.7%だったものが、平成30年度では、小学校で6.1%、中学校では6.7%と、小学校・中学校とも悪化しているとのことだった。現在はどのようなになっているのか。</p> <p>(追及5) 学校給食の食べ残しの縮減は、SDGsの取り組みを進める本市において、非常に重要なことだと考える。昨年度の実績は、平成30年度と比べると小学校・義務教育学校前期課程で増、中学校・義務教育学校後期課程で減ということであったが、この結果について、教育委員会ではどのように評価し、何が原因であったと考えているのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4) 学校給食の残滓率、食べ残しの割合ですが、過去3年間を申し上げますと、令和元年度は小学校・義務教育学校前期課程で6.3%、中学校・義務教育学校後期課程では5.8%、令和2年度は小学校・義務教育学校前期課程で6.1%、中学校・義務教育学校後期課程では5.8%、令和3年度は小学校・義務教育学校前期課程で6.7%、中学校・義務教育学校後期課程では6.1%となっております。</p> <p>(追及5) 平成30年度以降、令和2年度までは、食べ残しの量も減少傾向でしたが、令和3年度につきましては、新型コロナウイルス感染症等の影響により、急遽の欠席や学級閉鎖が発生したことなどが原因の一つではないかと考えているところです。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 学校給食について</p> <p>(3) 学校給食の残滓量の現状について</p> <p>(4) 鳥取市学校給食センター整備基本計画（案）について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及6)</p> <p>新型コロナウイルスに感染して、急に欠席したことで食べ残しが増えるのは仕方ないことかもしれないが、私はこれまでに、他都市の事例も紹介しながら、食べ残しを減らす努力をするよう求めてきた。</p> <p>教育委員会として、食べ残しを減らすためにどのような取り組みをされているのか。</p> <p>(追及7)</p> <p>平成25年度にはアレルギー対応が必要な児童生徒は3名程度だったものが、令和元年度には44名に増加していることであったが、その後、本市で食物アレルギーにより学校給食の除去食・代替食の対応をしているのはどの程度あるのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及6)</p> <p>学校給食は児童生徒の心身の成長や健康の保持増進を図るための重要な役割を担っており、地場産物の活用による郷土愛の醸成や栄養教諭等による食育指導を通して、食べ残しを減らす取組を行っているところです。</p> <p>現在はコロナ禍により、児童生徒と生産者のみなさんと直接交流することが困難なため、栄養教諭等が生産者の元を訪れ、生産者の活動の様子等を取材し、各校へ動画で届けたり、新メニューを考案し、レシピを公開する等の新たな取組を始めているところです。</p> <p>また、保護者をはじめ、市民のみなさまにも学校給食に関心を持っていただくため、市報やホームページ等へ情報を掲載するなど広報にも努めており、今後も引き続き学校・家庭・地域と連携しながら、取り組みを進めてまいります。</p> <p>(追及7)</p> <p>学校給食での食物アレルギーは、乳・卵アレルギーのみの対応を行っているところですが、令和2年度以降の、食物アレルギー対応をしている児童生徒数は、令和2年度が62名、令和3年度が70名、令和4年度は現時点で77名となっています。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">対応済</div>			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 学校給食について</p> <p>(4) 鳥取市学校給食センター整備基本計画（案）について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及8) アレルギー対応が必要な児童生徒は大幅に増えているが、この背景や要因についてどういったことが考えられるか、なぜ増えているのか、どのように分析しているか。</p> <p>(追及9) 策定が進んでいる「鳥取市学校給食センター整備基本計画」の案に、「増加傾向にある食物アレルギー児童・生徒の対応や、必要に応じたアレルギー対応施設整備」とある。新たな学校給食センター整備にあたり、具体的にどのような設備を設け、どのようなアレルギー対応の学校給食を提供しようとしているのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及8) 食物アレルギーがある児童生徒の数については、本市のみならず、国・県の状況を見ましても増加傾向にあります。 例えば毎年、鳥取県が実施する「学校の保健・安全・食育の取組状況調査」の結果から見ましても、全県下で食物アレルギーがある児童生徒の数は、令和2年度が2,340人、割合にして5.51%、令和3年度が2,360人、割合にして5.62%と増加しているところです。 この背景や要因については、アレルゲンの増加や腸内環境など様々な要因等があるところと推察しますが、医学的に明らかになっておらず、本市として具体的な分析までは行っておりません。</p> <p>(追及9) 現在の学校給食センターには、アレルギー対応の給食を調理する専用室はなく、大きなセンターの中でパーティションで囲って調理を行っているため、コンタミネーション（調理の過程での偶発的なアレルゲンの混入）が懸念されます。 食物アレルギーを有する児童生徒が増加傾向にある中、その対策は学校給食においては大変重要な課題であると認識しており、新たな学校給食施設では、調理中のコンタミネーションを防ぐ、専用のアレルギー対応調理室を設けて、安全安心なアレルギー対応食の提供を行うこととしています。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>1 学校給食について</p> <p>(4) 鳥取市学校給食センター整備基本計画(案)について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及10)</p> <p>現在、鳥取地域では業者が炊いたご飯を各学校に配送する形をとっているが、整備基本計画案では、炊飯業務について「経済的かつ安定的に調達できる事業内容の検討」と、わざわざ一項目を設けている。これはどういう意図があり、具体的にどういったことを検討するのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及10)</p> <p>炊飯業務につきましては、令和2年3月に改定した「鳥取市の学校給食の基本構想」において、「経済的かつ安定的に調達できる事業内容の検討」と記載しており、この度の整備基本計画案でもその方針を踏まえたものです。</p> <p>本市では、現在のところ施設によって委託業者による炊飯であったり、センターで炊飯したりと、米飯の提供方法が異なっています。また、これまでに議員も自校炊飯のことをおっしゃいましたが、この度は、センター方式、親子方式、自校式および業者委託等について、コスト面だけでなく、安定的な提供というリスク管理の観点も重視して、検討することとしたものです。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 学校給食について</p> <p>(4) 鳥取市学校給食センター整備基本計画（案）について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及11) 令和元年9月議会で、「鳥取地域では御飯とおかずを別々に1つの学校に配送し、さらには容器の回収を行っている。これを改善すれば、配送に関する経費が削減され、安価に学校給食が提供できると考える」と質問したところ、よりよい配送方法について今後研究したいとの答弁であった。 道路の整備も進んできたが、新たなセンターを整備するにあたり、どのように検討しているのか。</p> <p>(追及12) ご飯・おかず・食器類を一度に1台のトラックで配送することは困難とはどういう意味か。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及11) 学校給食では、調理後2時間以内に喫食できるように努めることが、学校給食法に基づく「学校給食衛生管理基準」に定められています。このことから、現在策定を進めている「鳥取市学校給食センター整備基本計画」では、整備するセンター数や位置について、「提供食数の推移や移動条件（配送に要する距離・時間等）を総合的に考慮」することとしています。 また、各校への配送を検討する中で、ご飯・おかず・食器類を一度に1台のトラックで配送することは困難で、2往復または複数台で配送する必要があることから、配送費用が現在の1.5倍近くになるという試算となったため、ご飯については炊飯の委託業者が直接学校に納品する方式が有利であると考えているところです。</p> <p>(追及12) 1台のトラックに、おかずとご飯の大きなコンテナを同時に積むことができない、という意味です。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	長坂 則翁	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>1 学校給食について</p> <p>(4) 鳥取市学校給食センター整備基本計画（案）について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及13)</p> <p>「学校給食の基本構想」には「鳥取市公共施設再配置計画」を踏まえ、提供食数の推移や移動条件を総合的に考慮して、学校給食センターの適正な配置に向けた「学校給食センター整備計画」を策定します」とあり、「学校給食センター整備基本計画」でも、その方針に従ってまとめようとしているようだが、現段階で、学校給食センターの配置についてどのように考えているのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及13)</p> <p>現在、「鳥取市学校給食センター整備計画検討委員会」において、将来的な学校給食センターの箇所数についても検討を行っています。</p> <p>現時点では、コストや災害等のリスク管理、用地などの観点から「2か所案」か「3か所案」のいずれかが適切と考えているところですが、引き続き、児童生徒数の推移を注視し、学校や保護者、多くの関係者の意見を踏まえて、検討委員会のなかで議論してまいります。</p> <p>なお、第一学校給食センターと湖東学校給食センターは老朽化が進んでおり、本市北部の地域に7,000食程度が提供可能な施設を整備することが急務となっています。このことから、早急に1か所目の施設建設地を検討し、用地の確保などに努めていきたいと考えているところです。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	足立 考史	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 体験的学習活動等休業日について (1) 11月の取組み内容について (3) アンケートについて		
【質問要旨】 (登壇1) 11月の期間中に実施されたイベント等について、5月の同事業の時より多岐にわたりイベント数も増え、充実した内容になっています。特徴的なイベントも含め、取組状況を尋ねます。 また、今年度を振り返っての評価、感想も併せてご所見を尋ねます。 (追及1) この度、体験的学習活動等休業日についてアンケートを実施され12月5日に公表されています。改めてどのようなアンケート内容か尋ねます。			
【答弁要旨】 (登壇1) 11月の本市各種イベント等の利用者数は把握できているものでは13のイベントで合計3,194名でした。その他、三洋テクノソリューションズ鳥取が社員の休暇取得と併せて親子でタブレットを組立てる体験を実施、わらべ館が子どもだけでも参加できるおもちゃショーを開催など、企業等が企画したイベントも実施されました。 5月のイベント等では2,696名の利用者がありましたので、5月も11月も子どもたちの体験等の機会として活用いただけたのではないかと考えております。また、企業等が本休業日の主旨をご理解くださり、子どもたちの体験を充実させようと企画実施して下さったことはたいへんありがたく嬉しいことであり、今後このような動きが広がっていくことを期待しています。 (追及1) 本休業日についての実施状況を把握・検証し今後のより良い実施に生かすために、保護者及び教職員対象でインターネット上に設置したアンケート（Googleフォーム）に回答していただきました。任意での回答ですが、保護者4,671人、教職員914人の方から回答をいただいています。 本アンケートでは保護者及び教職員の有給休暇の取得状況、本休業日の過ごし方、勤務された家庭の子どもの過ごし方、本休業日に対する意見等、また、教職員においては勤務した理由も回答いただきました。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	足立 考史	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	2 体験的学習活動等休業日について (3) アンケートについて (4) 課題と今後の取組みについて		
【質問要旨】 (追及2) アンケートによって5月と11月の両日に勤務したと回答された保護者は53.1%あり、十分に有給休暇取得ができなかったことが明らかになりました。この結果について所見を伺います。 (追及3) 6月議会でも放課後児童クラブ登録者の3割が利用、市立幼稚園の預かり保育は137人中45人が利用したこと、保護者の声などを紹介し、この取組を進めるにあたりどのような課題があり、どう対策されるかと尋ねました。 この度のアンケートから新たに増えてきた課題もあると思います。今後の取組についてご所見を尋ねます。			
【答弁要旨】 (追及2) 回答くださった保護者のうち、53.1%が両日ともに勤務しており休暇を取れていない状況であったことがわかりました。本休業日は社会全体の年休取得の促進と、子どもたちが家庭や地域で多様な体験的活動等を行う機会を増やすという効果も期待しています。引き続き、企業や事業主の皆さんに対しても本休業日についての説明や広報等に努め、保護者が休暇を取得しやすい雰囲気を社会全体で醸成していきたいと考えます。 また、令和5年度・6年度の日程については本市ホームページへの掲載や学校への通知をしていますが、本休業日の日程やイベントの詳細をもっと早い時期に周知することで保護者が休暇を申請しやすくなるよう工夫していきたいと考えます。 (追及3) 子どもだけで過ごさせたと回答した家庭は、5月2日が35.2%、11月4日が37.4%でした。保護者のご意見の中には、このような状況への不安や困り感もありました。保護者が休暇を取得し子どもと共に過ごせる日となることが理想ですが、職種や勤務形態によっては休暇を取得できる保護者ばかりとは限りません。 今年度のイベントの中には子どもだけの参加が可能なものや地域住民が公民館で開催したものなどがありました。今後このような形のイベントが広がっていくことを期待します。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	足立 考史	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	2 体験的学習活動等休業日について (4) 課題と今後の取組みについて		
【質問要旨】 (追及4) 教職員の5月・11月両日を有給休暇取得としたと回答された割合は90.9%、どちらか1日を勤務と有給休暇取得と回答された人は3.5%と、ほとんどの教職員が有給休暇を取得されています。このことは教職員の働き方改革として有給休暇取得率の向上や心身のリフレッシュを推し進める目的の一助となったのではと思いますが、こうした結果に対してのご所見を尋ねます。			
【答弁要旨】 (追及4) 今回のアンケート調査では教職員全体の90.9%が有給休暇を取得したという結果でした。このことから、本休業日が教職員の有給休暇取得の促進につながったと考えております。 過ごし方に関する回答からも、本休業日が教職員の心身の休養やリフレッシュ、家族と過ごす機会となったということが分かりましたので、教職員にとっては有意義な日であったのではないかと考えております。 一方、急ぎの分掌業務等があり両日とも勤務した教職員が1.3%いましたので、引き続き業務改善等も進めながら有給休暇が取得できるような状況にしていきたいと考えます。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	米村 京子	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 美術作品の保存について (1) 市として廃校の把握について		
【質問要旨】 (登壇1) 地元芸術家の中には制作した作品の保存場所に困っている方々もおられるようである。廃校などが有効に活用できないものかと考えるが、本市の廃校の利用状況はどのようになっているのか伺う。			
【答弁要旨】 (登壇1) 本市には建物が残っている廃校施設は小学校10校、中学校3校の計13校あります。利用の状況としましては、主に地域の皆様の利用を中心として、校舎は地区公民館やコミュニティ施設などとして、屋内体育施設は地区体育館などにご利用いただいています。 また、民間事業者に貸出し活用している施設も一部あり、最近では、令和3年度に民間提案制度で旧神戸小学校の校舎やグラウンドなどをドローンの練習施設として貸出したところです。 いずれにしましても、美術品の保存目的で廃校施設を貸出ししている事例はありません。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>1 G I G Aスクールについて</p> <p>(1) G I G Aスクールの現状について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇1) 令和2年より、児童生徒に、端末を活用した授業改善を行えるように、ICT活用や指導力向上に関する教職員研修などを行ってきたと思うが、G I G Aスクールの現状について伺う</p> <p>(追及1) 学習でさらにICTを活用して学習を進めていくため、鳥取市の学校では教室以外で活用できるようにネットワーク整備は行われているのか伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇1) 鳥取市G I G Aスクール構想では、教育ICT環境整備とあわせて、日常的にICTを活用しながら子どもたちの主体的・対話的で深い学びの実現を進めています。 本市では、各校の情報化推進リーダーを対象にした研修のほか、ニーズに応じてその他より多くの教員が受講できる研修を行っています。さらに、学校のリクエストに丁寧に応える形での研修も実施しており、現在多くの学校でICTを活用した学習が展開されるようになりました。 また、学習場面だけでなく、児童生徒の実態を把握するための健康観察や各種アンケートの集計や分析をタブレット端末で行うなど、教員の業務の効率化での活用も進んでいます。</p> <p>(追及1) 普通教室への整備に加えて、今年度は特別教室でもタブレット端末がインターネットにつながるよう、校内ネットワーク環境を整備しました。 また、体育館や校外でも活用できるように、移動が可能なモバイルルーターも各校へ配備し、より幅広くタブレット端末を活用した学習ができるようになっていきます。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>1 G I G Aスクールについて</p> <p>(1) G I G Aスクールの現状について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 学校からのアプリケーション等の追加申請があった場合など、どのような管理体制になっているのかを伺う</p> <p>(追及3) 校務支援システムが導入されて今日までどのような効果があったのか伺う。</p> <p>(追及4) I C T活用計画や教員のフォローアップの現状について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 現在配備されているタブレット端末は、セキュリティを強化するためのソフトウェアにより一元的に管理しており、児童生徒や学校が新たにアプリケーションを追加できないようにしています。 さらに必要なアプリケーションがあれば、学校ごとに教育委員会へ申請し、審査を経て使用できるような流れとしています。</p> <p>(追及3) 校務については、平成30年度より学校業務支援システムを活用し、効率化が図られています。特に通知表をはじめ、各種の帳票作成においては業務時間の大幅な短縮につながっています。 また、一般的なインターネット回線とは異なる回線を使用しているため、学校と教育委員会や教職員個人間での情報のやり取りが簡単かつ安全に行えるなど、大きく業務の効率化が図られています。</p> <p>(追及4) 本市のI C T活用に関する計画については、令和2年度から「鳥取市G I G Aスクール構想について」を示しており、毎年更新を図っています。 教員のフォローアップについては、計画にあるI C Tの活用方法に関する研修のほか、アプリの活用に関する動画の配信や学校へ出向いて行う研修等を随時行っています。 今後は、『鳥取市学校教育情報化推進計画』を今年度中に策定し、令和7年度までの本市の学校教育情報化の方針を示すとともに、アンケート等を活用して現状や課題を把握しながら、活用計画の見直しを随時行ってまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>1 G I G Aスクールについて</p> <p>(2) 教育ICT機器の導入について</p> <p>(3) 現在の使用実績について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及5) 大型提示装置を全学級に配備する予定とのことだが、各学級に1台ずつ配備されるメリットは何か伺う。</p> <p>(追及6) タブレット端末に不慣れな子どもたちは授業についていけないような状況も起こりうると思うが、誰一人取り残すことのないような取り組みについての所見を伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及5) 平成30年度から年次的に進めてきた、すべての学級への大型提示装置の整備が今年度で完了します。これにより、タブレット端末の画面を大きく映し出し、教員が学習課題を提示したり、児童生徒全員が一斉に情報共有や意見交換したりすることなどが、どの学級でもできるようになります。 また、教科の学習場面だけでなく、部活動や委員会・係活動で活用されたり、姉妹都市交流事業等で遠隔地と交流授業を行ったりするなど、様々な教育活動でも活用されています。</p> <p>(追及6) 当初はタブレット端末に慣れるため、比較的取りかかりやすい写真アプリやインターネット検索、e-ラーニング教材等から使用を始めましたが、現在では多くの学校で、クラウド上で学習活動を行うなど、タブレット端末の有効活用が進んでいます。また教科の学習だけでなく委員会活動や学校行事等での活用も進んでいるところです。 使用について不慣れな子どもに対しては、教員による支援だけでなく、意図的に子どもたち同士の教え合いも取り入れながら、全ての子どもが活用できるような工夫を行っています。また、子どもたちの支援にあたる教員に対しては、鳥取市G I G Aスクール運営支援センターを開設したり、研修を実施したりして支援を行っています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	1 GIGAスクールについて (4) 今後の課題について		
【質問要旨】 (追及7) 今後さらにICTの活用を進めていく上での課題は何かを伺う。			
【答弁要旨】 (追及7) 不登校や新型コロナウイルス感染症等による自宅待機または臨時休業等の緊急時にも、子どもたちの学びを保障していく必要があるため、このオンライン授業等が大変必要なものだと考えています。多くの学校がタブレット端末を持ち帰ってオンライン授業等を行い、遠隔でも学習できるようにしていますが、今後はさらに充実したオンライン学習が行えるように、日常的な活用をより一層進めていくことが課題です。 タブレット端末が子どもたちの学習用具の1つとして活用されるように、今後も、教員のICT活用指導力向上に係る研修を実施するとともに、家庭や地域の理解と協力を得ながら、タブレット端末の日常的な持ち帰りを推進したいと考えているところです。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	中央図書館
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2 鳥取市電子図書館について (1) 現在の進捗状況について (2) 今後の利用促進について		
【質問要旨】 (登壇1) 12月1日に運用開始した鳥取市電子図書館の今日までの会員登録や利用状況はどのようなになっているのかお尋ねします。 (追及1) ひとり一台のタブレット端末を持っている児童・生徒などへの利用促進について、一度関係者で協議の場を持っていただきたいと思い、所見をお尋ねいたします。			
【答弁要旨】 (登壇1) 運用開始した12月1日から18日までの利用状況は、閲覧件数が1,941件、1日平均108件、また、貸出冊数が781冊、1日平均43冊となっています。11月から12月にかけて、新たに図書館貸出カードの利用登録や更新の手続きをされ方は、昨年度と比べると約50%（R3=355件からR4=547件へ増加）多くなっており、電子図書館をきっかけに手続きいただいたことが伺えます。 また、利用の特徴としては、夜間や早朝など、図書館が閉館中の利用が多く見られることから、「24時間365日、いつでもどこでも、図書館へ行く必要なく気軽に借りられる」と広報させてもらった電子図書館のメリットを活かすことができる順調なスタートを切ることができたと感じております。 (追及1) GIGAスクール事業を推進するうえで、電子図書館を利用した児童生徒の読書環境を整備することは大切なことと考えます。現在、児童生徒用の電子書籍の種類が少ない現状です。今後、児童生徒向けの文学や小説、調べ学習用の図鑑などの電子書籍の充実を図っていきたいと考えています。また、教育委員会内の関係課と連携を図り、学校現場の状況等を把握しながら、より一層児童生徒が読書に親しむ環境の整備し、利用促進を図っていきたいと考えています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	中央図書館
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	2 鳥取市電子図書館について (3) 図書館スポンサー制度の活用について		
【質問要旨】 (追及2) 図書館スポンサー制度を電子図書館においても活用することや電子書籍購入財源確保のため、ふるさと納税基金で充てることを提案したいと思うが所見をお尋ねします。			
【答弁要旨】 (追及2) 雑誌スポンサー制度は、民間事業者などのみなさんが社会貢献として雑誌を寄贈することと、広告事業を組み合わせた制度です。提供いただいた雑誌の「最新号」のカバー表面と雑誌棚にスポンサー名を表示させていただいております。令和4年度においては、7つの企業・団体が、雑誌12点のスポンサーになっていただいております。 今後は、この制度を電子図書館においても活用して、市立図書館の資料費を確保し、図書館サービスの充実を図っていきたいと考えております。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	5 小・中・義務教学校に関連して (1) 給食について		
【質問要旨】			
<p>(登壇1) 文部科学省が11月29日付で出した「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更等について」という通知では「従前から、必ず「黙食」とすることを求めている」ことを明記し、また、いわゆる黙食をしなくていいこととした。 本市ではこの通知を受けて、どのような対応をとっているのか伺う。</p> <p>(追及1) 本市からの通知を受けて、学校での状況に何か変化が見られたか伺う。</p>			
【答弁要旨】			
<p>(登壇1) 本市では文部科学省の通知を受け、12月7日付で各学校に対し、給食等の食事を取る場面における対応については、文部科学省が作成した「学校における感染症に関する衛生管理マニュアル」に添い、「会食に当たっては、飛沫を飛ばさないよう、例えば、机を向かい合わせにしない、大声での会話を控える。」等とし、必ずしも黙食をすることを求めない。座席配置の工夫や適切な換気の確保等の措置を講じた上で、会話をする時は、適切な声で行う、食後に会話をすることは、マスク着用をするなどの指導を行っていただき、感染対策と児童生徒のコミュニケーションをとる機会の確保の両立を図っていただきたい」と通知したところです。引き続き、国の動向を踏まえて、適切な対応を行ってまいります。</p> <p>(追及1) 本市からの通知を受け、学校現場でも食事中の会話等への対応が周知されたところですが、現在、新型コロナウイルス感染症の感染状況がかなりの広がりをみせていることもあり、学校としてもまだまだ慎重に対応せざるを得ない状況であるとのこと。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	5 小・中・義務教学校に関連して (2) 部活動の地域移行について		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 中学校の部活動の地域移行については県の12月議会においても取り上げられたとの新聞報道があった。平井知事は「市町村と協働で進めていく」と述べ、側面的支援策を展開する考えを示したとのことである。本市の進捗状況を含め、教育長の所見を伺う。</p> <p>(追及3) 部活動の地域移行に伴って、地域スポーツクラブが令和5年度から日本中学校体育連盟主催大会に特例として参加できることとなった。令和5年度からの運用に向けた進捗状況について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 有識者会議提言に対する国の考えが「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（案）」として11月に示されました。また、県も対応について協議されています。本市におきましては、国や県の考えを踏まえながらも、本市の実情に応じた地域移行となるよう部活動改革委員会でご協議いただいているところであり、今年度中には第一次提言として取りまとめていただく予定です。その内容をもとに地域移行を進めていくにあたっては、県や東部地区四町と情報を共有していきたいと考えています。</p> <p>(追及3) 県中学校体育連盟によりますと、参加要件について日本中体連の競技部ごとに協議されており、参加手続きの方法を含め、学校、生徒及び保護者、地域スポーツクラブ等への周知に向けた準備を進めているところであるとのことでした。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	5 小・中・義務教学校に関連して (3) 内申書について		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4) 今後、地域クラブ活動を主とする生徒が増えていくことが想定される。高校入試にあたって、地域クラブ活動は調査書（内申書）にどのように記載されることになるのか伺う。</p> <p>(追及5) 文部科学省が、調査書（内申書）における学校部活動等の記載内容がどのように評価されるのか明示するよう都道府県教育委員会に求める方針を決めたとの新聞報道があった。明示されることによって、生徒や保護者の学校部活動等に対する過度の期待や、記載内容の取り扱い方に対する不安が和らぐものと考えているが、教育長の所見を伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4) 現在においても、「特別活動等の記録」欄において「家庭や社会における奉仕活動等の善行、学校内外における表彰を受けた行為や活動等、課外における活動のうち、生徒の長所と判断されるものなど」を記載することが可能です。ただし、国の有識者会議提言が「単に活動歴や大会成績だけではなく、活動からうかがうことのできる生徒の長所、個性や意欲、能力に言及するなど、記載を工夫する必要がある」と指摘していることから、記載内容について、今後、県教育委員会において検討されるものと考えています。</p> <p>(追及5) 国の有識者会議提言も「生徒や保護者が高校入試の際に有利になることを過度に期待して、大会で良い成績を出すことを求め、学校部活動の過熱化や長時間化を招いている一因となっている」ことなどを危惧し、国から都道府県教育委員会に対して「評価の観点や配点等について入学者選抜実施要領や各高等学校のホームページ等において明示し、生徒や保護者の正しい理解を促進することを指導助言する必要がある」と指摘しています。学校部活動等の本来の趣旨を損なうような状況は適宜改めることが望ましいと思いますが、この点につきましても、今後、県教育委員会において検討されるものと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	玉木 裕一	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2次世代への徹底投資について (1) 教育環境の整備及び教育予算について		
【質問要旨】 (登壇1) 学校現場で感じる多忙感と文部科学省の調査結果をみて違和感があるが、鳥取市の学校に配置されている教職員数は本当に適切なのか。学校にはその他に支援員などの人的支援を行っていると思うが、その目的と配置基準と現在の状況で十分なのか、課題をどうとらえておられるのか教育長の見解を求める。			
【答弁要旨】 (登壇1) 学校現場では、年度当初に担任以外の教員が不足していたり、年度途中で生じた産休・育休や病休等の代員講師が未配置の状況にある学校が多数あるのが現状です。 本市としては、学校の実態を把握しながら、学校のニーズに応じて独自に、配慮の必要な児童生徒が落ち着いた学校生活を送ることができるように支援を行う特別支援教育支援員、不登校傾向の児童生徒への適切な支援と学びの場として相談室の円滑な運営を行う児童生徒相談員等を適切に配置するよう努めています。 しかし、児童生徒一人ひとりへのきめ細かな教育を実現するためには、現在の教職員定数では十分であると言い切れません。子どもたちを取り巻く環境が複雑化、多様化している中、まずは国における教員定数が改善されること、そして定められた教員数が確実に配置されることが、重要であると考えています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	玉木 裕一	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	2次世代への徹底投資について (2) 明石市の教育改革と鳥取市の教育方針について		
<p>【質問要旨】 (登壇2) 第2期教育振興基本計画に明記している教育理念や基本方針は素晴らしいが、子どもたちに説く前に自分たち大人が実践すべきだと感じた。これらの理念や方針が、どれだけ市民、特に子育てをする世代に届いているのか。これらについて、教育長の見解を尋ねる。</p>			
<p>【答弁要旨】 (登壇2) 本市が第2期教育振興基本計画に示している基本理念や基本方針、また推進施策等については、教育委員会が各学校長に説明し、校長はそれをもとに学校運営協議会と連携しながら学校経営方針を立てそれをもとに各学校での創意工夫のある教育活動を行っています。 現在、これらの内容については市や学校のホームページで公開しておりますが、保護者一人ひとりにまでしっかりと届いているかと問われますと、まだまだ工夫の余地があるものと考えます。 今後、より一層保護者への周知を図り、保護者、学校が同じ方向性を見据えながら、ふるさとへの思いや志をもち、たくましく活躍できる人づくりに取り組んでいきたいと思えます。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	玉木 裕一	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	2 次世代への徹底投資について (3) ウェルビーイングとエージェンシーについて		
【質問要旨】 (追及1) ウェルビーイングやエージェンシーを学校教育で醸成するためにはどのような取組が考えられるのか？教育長の見解を尋ねる。			
【答弁要旨】 (追及1) 本市では、人との豊かなかかわりにより児童生徒の自己有用感を高めるとともに、自治力のある集団作りを推進しています。これは、議員ご指摘の「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会改革を実現していく力」であるエージェンシーを醸成することにより「一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ」の両方のウェルビーイングな姿を追究するものであります。 令和2年度より取り組んでいる「笑顔あふれる自治力育成事業」もその取組の一つです。ここでは、子どもたちが自ら課題に気づき問題を解決したり、自ら提案した企画等で楽しい取組を実現したりする等のエージェンシーを基盤とした活動を大切にしています。この体験をとおして、役立ち感を感じたりといった自己有用感の育成や、よりよい人間関係を築くことは、いわゆるウェルビーイングにつながるものと考えています。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年12月定例会		
議員名	玉木 裕一	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年12月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	2次世代への徹底投資について (4) 次世代への徹底投資にむけたトップの決断について		
【質問要旨】 (追及2) 次世代への徹底投資にむけたトップの決断について市長はどのように考えているか尋ねる。			
【答弁要旨】 (追及2) 教育を通じて、市民誰もが生き生きと活躍し輝くことができる、そのような次代を市民の皆様とともに築いていきたいと願っています。 それにかかわる本市の教育施策においては、特に学校教育においてこれまでも施設や設備面の整備をはじめ、市独自での支援員等の配置、少人数学級の実現、GIGAスクール構想の実現、グローバル化に対応した英語教育の充実などに係る予算を確保し、教育環境の充実に努めてまいりました。引き続き、未来の鳥取市を担う子どもたちのためにも、学校、家庭、地域、関係機関が連携しながら社会全体で子どもたちを育み支えていく仕組みづくりを進めることが、行政が担う重要な役割であると受け止めています。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年12月27日(12月定例教育委員会)			